



北九州市河内藤園(八幡東区)

審 議 日 程

2月23日(金)	本 会	議	(開 会) ・市長提出議案上程、提案説明
3月1日(金)	本 会	議	・議員提出議案上程、提案説明、採決 ・代表質疑
4日(月)	本 会	議	・代表質疑
5日(火)	本 会	議	・一般質疑
6日(水)	本 会	議	・一般質疑
7日(木)	本 会	議	・一般質疑、 <small>〔2/24~29までは 議案研究のため休会〕</small> ・予算特別委員会設置、付託
8日(金)	本 常任委員会	員 議	・議案審査
11日(月)	本 常任委員会	員 議	・議案審査
12日(火)	本 常任委員会	員 議	・議員提出議案上程、提案説明、採決 ・常任委員長報告、採決(常任委員会分)
13日(水)	予算特別委員会	員 議	・分科会設置 ・議案審査
15日(金)	予算特別委員会	員 議	・議案審査
18日(月)	予算特別委員会	員 議	・議案審査
19日(火)	予算特別委員会	員 議	・採決
21日(木)	予算特別委員会	員 議	・請願、陳情審査
22日(金)	本 常任委員会	員 議	・予算特別委員長報告、討論、採決
25日(月)	本 会	議	・市長提出議案上程、提案説明、採決 ・議員提出議案上程、提案説明、採決 ・請願、陳情採決(閉 会)

二月定例会開かれる

平成八年二月北九州市議会定例会が、二月二十三日から三月二十五日までの三十二日間の会期で開かれました。

市長から七十六件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案を可決しました。

また、議員から提出された議案は八件で、うち七件を可決しました。

福祉、緊急経済対策などに重点配分

平成8年度当初予算^{総額}1兆653億円を可決

2月定例会



若松保健福祉センター・浜町校区市民福祉センター イメージ図

市長が提出した議案

(主なもの)

平成八年度当初予算

区分	予算総額
一般会計	5,250億8,800万円
特別会計	4,090億3,614万円
企業会計	1,311億9,914万円
合計	1兆 653億2,328万円

平成七年度補正予算

区分	補正額	補正後の額
一般会計	△ 30億1,547万円	5,307億9,014万円
特別会計	17億4,003万円	3,994億5,075万円
企業会計	3億9,279万円	1,342億5,202万円
合計	△ 8億8,264万円	1兆 644億9,291万円

※△は減額、単位千円以下は切り捨て
条例の制定または改正
○処分、行政指導及び届出に

市長提案理由説明(要旨)

一めりはりのきいた

施策を展開!

平成八年度は、景気の回復が期待されるものの、国・地方ともに、なお、財政の逼迫が予想され、本市の財政状況もこれまで以上に厳しいものと覚悟せざるを得ません。「北九州市ルネッサンス構想第二次実施計画」も三年目

を迎えることとなり、構想の実現に向けて、各種施策を積極的に推進する必要があると見ます。今後、八年度から十年度にかけて、既存の事務事業の費用、効果等を原点に立ち返って見直し、行財政運営の一層

議員が提出した議案

(可決したもの)

- 関する手続きを規定(新設)
- 門司母子寮の廃止
- 小倉母子寮の移転
- 保健所の統合及び保健センターの設置
- 市民福祉センター四館の新設
- 白野江植物公園の新設
- 南小倉駅前自転車駐車場の新設
- 引野公民館の廃止
- 障害者福祉会館の利用対象者に精神障害者を追加
- 軽費老人ホームの使用料の引き上げ
- 東部・西部斎場の火葬場使用料の引き上げ
- 国民健康保険料の賦課限度額の引き上げ
- 戸畑商業高等学校の授業料の引き上げ
- 工事請負契約の締結
- 若松保健福祉センター・浜町校区市民福祉センター建築工事(六億一、八三〇万円)
- (仮称)ふれあいむら社ノ
- 住宅金融専門会社の不良債権処理に関する意見書
- 阪神・淡路大震災の復興対策及び災害対策の抜本的強化に関する意見書
- 新たな「食料・農業・農村基本法」の制定を求める意見書
- 日本電信電話株式会社の在り方に関する意見書
- 被害エイズ問題の真相究明と被害者の救済等に関する意見書
- 意見書は、内閣総理大臣等に送付しました。
- 地方分権の実現を求める決議
- 九州旅客鉄道株式会社の指令部門移転計画の撤回を求める決議

陳情

(採択したもの)

の簡素合理化に努める一方で、重点的に推進すべき施策については、より積極的な財源配分を行うなど、めりはりのきいた施策を展開します。八年度予算で特に重点を置いた点は、①福祉施策の一層の充実、②将来を見据えた緊急経済対策、③生活の場としての都市環境の整備です。このような施策を中心に、市民と一緒に、まちづくりに取り組んでいきます。

議員連盟を設立

一 響灘大水深
港湾整備促進

響灘地区での大水深港湾整備事業を推進するため、議員全員で構成する「響灘大水深港湾早期整備促進北九州市議会議員連盟」が、三月二十一日に設立されました。今後、大水深港湾の早期整備に向け、国等に働きかけていきます。



質問と答弁

本会議で、19人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました。その中から、いくつかを取りあげました。

行政のリストラ 六つの重点項目

議員 市は、八年度から三年間を目標に、新たな行財政改革に取り組みようとしています。その基本的な考え方や具体的な内容についてお尋ねします。
市長 行財政改革を推進する新たな取り組みとして、本年一月十日、「北九州市行財政改革推進本部」を設置しました。今回の行財政改革の重点項

目は、①組織機構の見直し、②職員数の見直し、③事務事業の見直し、④住民サービスの向上、⑤公共施設の適正な運営管理、⑥行政各分野の目標設定、の六項目を掲げています。市民サービスを低下させず行政の効率的な運営を進めるための仕組みなどを考えたいと思います。
六項目のどれをとっても大変な問題ですが、積極的に進めていきたいと思っています。

ベイフロントパーク

▼東田地区▲

議員 スペースワールドに隣接する臨海部に、市民に親しまれるウォーターフロント「ベイフロントパーク」の建設計画が進められています。施設の内容やスケジュールはどのようになっていますか。
市長 この事業は、民有の水際線を親水緑地として整備し、市民に自由に楽しんでいただくものです。現在、地主や民間の協力を得て進めており、大変うまくいきそうなので、プロジェクトと考えています。
企画局長 臨海部約十一畝に、親水緑地、半屋外式のイベント広場「ガーデンプラザ」、温浴施設、JRAの場外発売施設「ウインズ八幡」などを整備します。
このうち、公共事業として親水緑地を八年度から十年度

にかけて整備します。民間の事業であるガーデンプラザとウインズ八幡は九年春に、温浴施設は十年春の完成を予定しています。

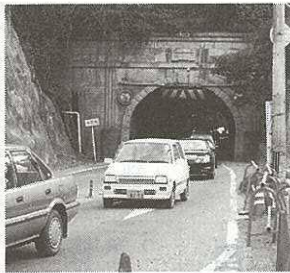
FAN事業の もたらす効果は?

議員 十年四月に国際総合流通センターが開業します。センターでの取扱品目や量によっては、市内流通業者への影響が懸念されますが、どのように考えていますか。
経済局長 センターでは、衣料品、食品、家具、雑貨等

の消費財分野を中心に、近くテナントの公募を始めます。地元企業からは、センター機能を活用して新しい商品輸入を拡大したい、商社経由から直輸入に切り替えてマーチンを大きくしたい、など意欲的な姿勢がうかがえます。
また、センターの運営主体となる(株)北九州輸入促進センターでは、共同仕入に向けた企業のネットワークづくりを進めており、地元中小企業の活性化につながるものと大いに期待しています。
なお、入居が決定しているヤオハンの使用面積は全体の二分の一、約三万㎡で、取扱商品は、衣料品、食品、雑貨などが中心になる予定です。

市内のトンネルを緊急点検

2月に発生した北海道・豊浜トンネル崩落事故を受けて、議員から、市内のトンネルの調査と安全対策について質問がありました。
建設局長は、「市と都市高速道路公社が管理するトンネル28カ所を対象に、岩盤の亀裂の状況などについて目視による点検を行いました。緊急に対処すべき箇所は認められませんでした。その後、国の緊急点検要領が出され、それに基づく、トンネル坑口部及び落石防止状況等の調査を専門家に依頼しました。この結果は、3月末までにまとめ、今後、国と協議しながら、適切に対処していきたい」と答えました。



「ひびきなだ」が かわる!

▼港湾整備計画▲

議員 市は、港湾都市として国際競争力を高めるため、響灘大水深港湾計画を進めています。

この大水深港湾の建設を促進するため、推進期成会を結成してはいかがですか。
また、港湾整備の見通しや関連する交通アクセスについてお伺いします。

市長 港湾整備に当たって道路整備は、ぜひ必要です。小倉方面からのアクセスについては、現在の若戸大橋の交通状況からみて、新たな連絡道路が必要と考えています。また、福岡方面については、既存の高速道路の活用や黒崎バイパス、戸畑・大谷間の自動車専用道路の整備等を考えていますが、これらで十分でない場合、洞海湾横断道路の検討も必要と思います。

港湾局長 国において、北部九州が中枢国際港湾に位置付けられました。これを受けて、運輸省第四港湾建設局と北部九州の港湾管理者で構成する「北部九州港湾連絡調整会議」が設置されました。この中で、大水深港湾の早期整備が可能な地域として響灘地区が最有力との合意がなされようとしています。

この合意により、国の第九

JR九州の 指令部門移転に抗議

市議会は、JR九州北九州本社にある指令部門の福岡市への移転計画の撤回を求め、三月十二日、「九州旅客鉄道株式会社指令部門移転計画の撤回を求める決議」を全会一致で可決しました。

また、正副議長と各会派の代表は、福岡市のJR九州本社を訪ね、抗議と計画の撤回の申し入れを行うとともに、運輸省を訪ねJR九州への指導を要請しました。

次港湾整備五カ年計画に響灘地区の大水深港湾整備が盛り込まれ、九年度からその予算が認められるものと期待しています。
今後、さらに国への働きかけを行うとともに、地元関係者に呼びかけて事業実現のための組織も結成したいと考えています。



いきいき安心訪問

議員 八年度からスタートする、女性消防団員による「いきいき安心訪問」は、具体的にどのようなものですか。

消防局長 これは、ソフトで感性豊かな女性の特性を生かして活躍している女性消防団員が、高齢化社会対策の分野においてもその能力を生かして、こうという新しい試みの事業です。

具体的には、従来から実施してきた一人暮らし高齢者家庭への防火訪問に加え、八年度から、家庭内の簡単な整理整頓や生活相談、行政機関への

の連絡など、ホームヘルプの要素にまで範囲を広げて活動しようというものです。

なお、この事業は、緊急通報システムやホームヘルパーなどの福祉サービスを受けていない方を対象に実施する考えです。



伊佐座取水場と 畑浄水場の 遠方操作計画

議員 市は、伊佐座取水場及び畑浄水場の運転監視を無人化し、遠方操作で対応する計画を進めています。

安全な飲料水を安定供給するためには、不測の事態に備え万全の体制をとる必要があります、この計画は中止すべきではありませんか。

水道局長 この計画は、先進技術の導入による機械化により、水道の近代化を推進するもので、伊佐座取水場の運

転監視と畑浄水場の夜間の運転監視を穴生浄水場から遠方操作で行おうとするものです。施設の整備にあたる職員は現状のままの勤務体制とし、職員不在時には監視員を配置するため、無人になることはありません。

また、事故が発生しないよう水質計器などの機器の増設や整備を行い、万一、事故が発生した場合でも、穴生浄水場でただちに水源の切り替えや応援給水の処置ができるようにするなど、二重三重のバックアップシステムをとることにしており、飲料水の安全な安定供給に支障はないものと考えています。

マルチメディア戦略

議員 マルチメディア社会の到来が予想されています。マルチメディア戦略を推進するため、市はどのような対応を考えていますか。

また、本市が資本参加しているケーブルテレビに対する今後の取り組みやその活用方法についてお尋ねします。

市長 マルチメディアを中心とした高度情報化社会の到来に当たり、市が関心を持っているのは、①光ファイバーなどの情報通信基盤の整備、②メディアを使った市民への情報提供と国内外への情報発信機能の強化、③マルチメディアの地域産業の育成と雇用の創出、の三点です。

まず、本市の光ファイバーを使ったネットワークとして、NTTによるアクセス網が二〇〇〇年までに、ビジネスエリアに張られる予定です。次に、情報提供については、キャブテンシステムなどを使い、市民に情報を提供していきます。今後も工夫し、効率的に行っていく考えです。

また、地域産業の育成と雇用の創出に向け、今後、ヒューマンメディア創造センターを設け、高齢者在宅生活支援システムを実施する予定で、現在その準備に取り組んでいるところです。

西戸畑地区は トンネル工法も可能

▼自動車専用道路
戸畑大谷線▲

企画局長 既存のケーブルテレビは、情報の流れが一方通行ですが、都市型ケーブルテレビは、地域の重要な情報通信基盤として、相互からの情報のやり取りが考えられます。すでに奈良県で、ホームセキュリティとして事業化した例もあり、本市も今後、検討していく考えです。

*マルチメディア
コンピューターなどの情報機器と通信回線を使って、仕事や生活を便利にする仕組みのこと

議員 五年十一月に都市計画決定された自動車専用道路戸畑大谷線については、高架方式での建設に反対した西戸畑地区地元住民に対して、トンネル工法も検討するという条件で同計画の理解が得られた、という経過があります。

本年三月末までに工法を決定することですが、どちらの工法をとられるのですか。

市長 本道路の建設計画に当たり、地下方式の可能性について検討するため、六年度から七年度にかけて、地質調査を行いました。

その結果、戸畑区の幸町交

『防災の手引き』全戸配布

阪神・淡路大震災の教訓から、本市でも防災対策強化への取り組みが始まっています。

「市は、地震・火災の際の避難場所や避難方法を掲載した『防災の手引き』を作成したが、これを全世帯に配布しては」と議員から提案がありました。

市民局長は、「これまで、市政だよりに防災特集を掲載したり、防災パンフレットの配布、講演会などを

通じて、防災意識や知識の普及に努めてきましたが、避難場所などは十分に周知されていないようです。今後、全世帯に『防災の手引き』を配布し、また、出前講演も実施していきたい」と答えました。



市民サービスは大丈夫？ 保健所の集約化

議員 市は、各区に設置している保健所を一つに集約し、あわせて、各区に保健センターの設置を提案しています。

新設の保健センターはどのような業務を行うのですか。

また、保健所が集約されれば検診などの住民サービスが低下するのではありませんか。

保健福祉局長 現在の保健所制度ができて五十年間が経過しました。

この間、高齢化や生活環境の改善など保健行政を取り巻く環境が大きく変わり、新しく地域保健法が制定されました。今回の提案は、この法律や国の指針に基づく見直しにより行うものです。

今後は、集約される保健所では、生活衛生業務、医薬業務、結核予防、エイズ対策業務などを実施し、機能の強化を図っていきます。

また、各種の検診、健康教育室、妊産婦、幼児健康指導などの直接市民にサービスを提供する業務は、従来どおり各区の保健センター（保健福祉センター内に設置）で行うこととしています。

文化施設の内容は？

▼東田地区▲

議員 八幡東区・東田地区に文化施設の建設が計画されていますが、その内容についてお尋ねします。

また、市内に点在する博物館をこの東田地区に集約しては、との提案を行ってきまして、どのような検討が行われているのですか。

市長 東田第一高炉の隣接地に整備する文化施設は、北九州の自然や暮らし、産業と技術の歴史などをテーマとする施設を考えています。

現在、整備構想検討委員会で、施設の基本的な考えなどについて幅広い議論が行われています。

また、歴史博物館、考古博物館、自然史博物館などを東田地区に集積させることについてもこの委員会の中で検討されており、三月中旬に中間報告を、九月には提言をいただく予定です。

折尾まちづくり構想

いなかの展開は？

議員 市は、昨年七月、折尾地区のまちづくり構想を明らかにしました。

この中で、市はJＲ折尾駅の北口広場の新設や筑豊本線

の立体化など、今後どのように具体化していくのですか。

市長 折尾地区の五十年、百年先の大計を考えるなら、JＲ折尾駅周辺のみならず、国道3号や199号などで囲まれた地域全体の中で、鉄道も含めてどうするかを考えるのがいいのではと思っています。

土地区画整理による手法を提案していますが、鉄道まで動かす大事業となれば、土地区画整理事業としての実現の可能性や経費の問題、鉄道、道路など関係機関との調整の問題も生じてきます。

しかし、何といたっても地元住民の意見がまとまるのが先決です。まず、地元関係者の意向を把握し、自由に意見交換しながら詰めていきたいと考えていますが、今後の展開はまだまだ流動的です。

市民の権利と利益を保護

▼行政手続条例▲

議員 今議会に北九州市行政手続条例が提案されています。この条例のポイントをお尋ねします。

総務局長 この条例は、市の条例、規則等に基づく処分届出や市の機関が行う行政指導について必要な事項を定め、行政運営上の公正の確保と透明性の向上を図り、市民の権利と利益を保護することを目的

にしています。

そのポイントは、①許可等の申請者に対して、どのような基準を満たせば許可されるのかという審査基準や申請から決定までの標準処理期間を設定する。②すでに受けている許可等の取り消しや停止などの不利益処分について、処分基準を設定する。また、その際、処分を受ける者の権利利益を保護するために、聴聞や弁明の機会を保障する。③指導、勧告等の行政指導は、市民の任意の協力によってのみ行えるという原則を明確にする。④届出については、記載事項に不備がなく、必要書類が添

付されているなど形式上の要件に適合している場合には、直ちに届出を受け付ける、などを定めています。

痴呆性高齢者のための施設を整備します

痴呆性高齢者のための施設を整備します

議員 痴呆性高齢者を抱える家族の中には、精神的、肉体的に限界を超えた介護を余儀なくされているケースも多く見られますが、特別養護老人ホームなどへの入所を希望しても、すぐには入れないのが実情です。

痴呆性高齢者の受け入れ施設の整備計画は、どのようになっているのかお尋ねします。

保健福祉局長 現在、痴呆性専用施設として、老人保健施設一〇施設・三四二床、特別養護老人ホーム三施設・一〇六床、ショートステイ六施設・七六床、デイサービスセンター四カ所などが整備されていますが、入所希望者が多いため待たされる人が出ています。

そこで、今後、痴呆性専用の老人保健施設を、九年三月までにさらに二二九床増やす計画です。また、八年度には、日赤が門司区に特別養護老人ホームを建設し一〇〇床を確保します。

なお、痴呆性高齢者の介護には専門的知識などを必要とすることから、一般の特別養護老人ホームなどの介護技術の向上を図り、痴呆性専用床への転換を指導していきたいと思えます。

また、ショートステイやデイサービスセンターについても、痴呆性高齢者に対応できるように、施設を拡充していきたいと思えます。

焼き物で観光・文化振興

議員から、「小笠原藩主御庭焼の伝統をひく上野焼をはじめ、市内にある窯元を振興し、新しい観光戦略の一つとしてはどうか」との提案がありました。



経済局長は、「本市には、企救焼、喜三郎窯、河内窯など多くの窯元があり、観光資源として有効に活用する必要があります。窯元巡りコースの設定、焼き物展の開催、民芸・土産品など、焼き物を素材とした観光振興に取り組んでいきたい」

また、教育長は、「文化行政の中で、絵画等への取り組みに比べて陶芸に対する取り組みは十分ではないという面が見られます。今後、文化の振興という観点から、優れた陶芸作品の創造や鑑賞機会の増大に取り組みたい」と答弁しました。

九州厚生年金病院

移転計画は？

議員 遅々として進まない黒崎副都心整備計画の推進の鍵は、九州厚生年金病院の岸の浦「総合健康・保健地区」への移転問題と考えます。現在の状況と今後の市の取

り組みについてお尋ねします。

企画局長 黒崎副都心構想の中で、岸の浦の総合健康・保健地区は、九州厚生年金病院を中心に、老人ホームや老人保健施設など、社会保険施設を整備していく計画です。

現在、事業主体の社会保険庁が用地買収を行っており、予定どおりに進めば、七年度までに必要な用地の約八三％五・八割が買収できることとなります。

また、すでに着工している老人ホーム「厚生年金ハートピア北九州」は、三月下旬にオープンする予定です。

市としても、九州厚生年金病院の移転計画に合わせ、道路の位置変更や新設、また撥川の再生整備などについて関係先と協議しています。

九州厚生年金病院の移転拡充は、副都心形成への起爆剤になると考えており、今後とも社会保険庁や県に対して強く要望していく考えです。



黒崎副都心

全館整備の見通しは?

▼市民福祉センター▲

議員 市長は、十一年度までに、市民福祉センターを全小学校区に整備することを公約しています。厳しい財政状況のもと、今後どのように建設を進めていくのですか。

また、センターに福祉指導員や保健婦を配置し、保健福祉総合相談窓口を設けてはいかがですか。

市長 センター建設については、七年度までに十六館、八年度にはさらに七館に着手します。そこで、九年度以降の三年間で残り五十館近くを完成させなければなりません。財政状況が当初の見込みより厳しく、また建設用地の確保も難航し、目標年度までの全館完成は大変難しい状況です。今後とも引き続き整備に努めますが、整備が遅れる校区では、既存施設を活用した、地域福祉のネットワークづくりなどソフト部分だけでも完成させたいと思います。

保健福祉局長 すでに開館している三館は、保健婦などによる保健福祉相談を定期的に行っています。

また、七年十一月から、高齢化が進んでいる若松区、八幡東区、戸畑区のモデル校区で、保健婦とケースワーカーが月一回、センターや公民館

に向いて在宅福祉サービス相談を実施しています。

なお、この事業は、八年五月からは、この三区の全域で実施し、将来は全市に広げたいと思います。

四車線化で副都心内の交通渋滞を解消

▼中央町穴生線▲

議員 黒崎副都心整備計画の柱として、中央町穴生線の道路計画が掲げられています。この路線は、今後の副都心整備の中で重要な役割を果たすものであり、その早期実現が期待されますが、その計画内容や今後のスケジュールをお聞かせください。

都市計画局長

中央町穴生線は、副都心と八幡西区西部地域を結ぶ重要な幹線道路ですが、二車線のため、慢性的な渋滞状況にあります。

そこで、副都心内の交通の円滑化を図り、八幡西区西部地域及び水巻・中間方面とのアクセス機能を強化するために、四車線に拡幅します。

計画区間は、黒崎小学校から筑豊電鉄穴生電停までの約二・四kmで、幅員は二七mを予定しています。

現在、地権者及び関係者に対して、計画の説明を行っており、今夏の都市計画決定を目指して、必要な手続きを進めたいと考えています。

組織を活性化

～部課長・早期退職制度～

市は、今年から満59歳の部課長級職員に早期退職制度を導入しました。

これについて議員から、「定年制延長という時代の流れに逆行し、職員の生活設計を無視するものでは？」との指摘がありました。

総務局長は、「この制度は、定年退職との選択制で、組織の活性化、幹部職員の若返り及び高齢者の活用を図ることなどを目的に行うものです。本制度の導入や管理職ポストの見直しにより、管理職数と職員定数が削減でき、人件費も削減できます」と答弁しました。

自然と調和した開発を

▼周防灘周辺地域▲

議員 新空港を含む周防灘周辺地域の開発に当たっては、自然環境との調和が大変重要です。

八年度予算案に計上されている曾根干潟の環境調査の概要や開発への影響についてお尋ねします。

企画局長

環境調査は、自然と調和したまちづくりを進めるための基礎資料にするため実施するものです。

これまでに、曾根干潟に生息する生物や干潟の底質・水質の状況調査を行いました。八年度でも野鳥やカブトガニについて引き続き調査し、特にズグロカモメについては、

待たれる高齢者憲章と福祉のまちづくり条例

議員 八年度予算に、高齢者憲章などを検討する「市民会議」の設置が提案されています。

会議の事業内容や高齢者憲章制定の目的についてお聞かせください。

また、すべての市民が優しく安心して住めるまちづくりを進めるため、福祉のまちづくり条例を制定してはいかがですか。

保健福祉局長 市民会議は、高い高齢化社会の実現に向けて市民意識の向上を図ることを目的に設置します。

この会議では、公募による市民代表や地域団体などの参加を得て、高齢者憲章の制定や高齢者の社会参加について

市立病院の整備計画

整備計画

議員 公立病院を含む医療体制の在り方検討委員会の報告内容を踏まえ、今後、各市立病院をどのように整備していくのですか。

病院局長 医療センターは、市立病院群の基幹病院に位置付け、高次医療を担う病院として、新たに脳神経外科、心

臓血管外科、精神科を設置するほか、母子保健医療、終末期医療等への取組みを強化します。また、一〇〇床程度の増床も検討しています。

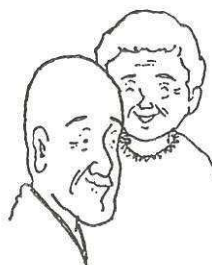
門司、戸畑両病院は、療養やリハビリテーションを重視した病院機能の充実を図ることとし、施設の改築等を行う予定です。

また、外来診療の一部に、非常設診療科を設置する計画です。

施設の老朽化が進んでいる

若松病院は、現在地での改築は困難であり、今後の当病院の役割や地域での位置付け、高齢化社会への対応など総合的に検討したうえで、できるだけ早く移転改築計画を作成したいと思っています。

なお、すべての病院に医療相談窓口を順次設置していき、医療保険、ホームヘルパー、老人ホーム等の利用などの相談を受けることにしています。八年度は、門司病院と医療センターに設置する予定です。



討議することになっています。

若年層を含めた幅広い年齢層の参加を呼びかけるとともに、高齢者憲章についてもなるべく早い時期に制定するよう取り組んでいく考えです。

なお、福祉のまちづくり条例については、検討委員会を設置し、福祉のまちづくりを進めるための課題や基本的方向などを調査しています。

今後、対象施設の範囲、整備基準など、引き続き調査研究を進めていく考えです。

新しい産業を創出するために

議員 本市の産業の活性化を図っていくためには、これからの成長が期待されるベンチャービジネス等新しい産業を創り出していくことが必要です。

市長 ベンチャービジネス等新たな産業を創り出すための支援策として、①次々に新たな企業が生み出されるよう

展開していくのですか。

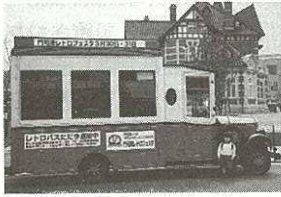
な環境づくりとして、担保力や事業実績があまりなくても技術力が優れていれば融資を行う起業支援、②独創的な製品や技術の開発を促進するための助成やコンサルタント派遣、研究開発成果の発表会開催など多面的な支援、③今後本市において成長が期待される新産業分野が着実に育つための方法を探る様々な調査研究や先進的な技術利用に関する実験、などを考えています。これらの対策を、市内産業界や大学関係者の協力を得ながら、効果的にすすめていきたいと思います。

門司港レトロに新観光メニュー 海峡クルーズに、レトロバス

門司港レトロ地区の観光地としての魅力や周辺地区への回遊性を高める観点から、関門海峡周遊船、レトロ観光列車、レトロバスの運行などについて、議員から質問や提案がありました。

港湾局長は、「この4月から関門汽船㈱のシーガル2号と㈱スペースクルーズのヴォイジャー号が関門海峡を周遊する計画です。市も周遊船運航に全面的に協力していきたい」と答えました。

さらに、企画局長は、「レトロ観光列車の事業化を検討していますが、定期運行には多額のお金が必要です。まず、イベント等にあわせた臨時列車を運行したいと思えます。また、3月末の一周年記念フェスタにはレトロバスが運行される予定で、この実績をみて、和布刈へのバスの増便やレトロバスの実現化を図りたい」と答えました。



なお、新しく企業を起こす創業者の悩みや相談に応じるため、北九州テクノセンター内に「中小企業総合相談窓口」を設けています。

国民健康保険料を引き上げ

議員 八年度に、国民健康保険の保険料と賦課限度額の引き上げが予定されています。

この引き上げにより、保険料が払えず、滞納を理由に保険証が交付されないケースが増加することが懸念されます。そこで、一般会計からの繰入金を増やし、保険料と賦課限度額を現行額にとどめるようにできないのですか。

保健福祉局長 国保制度は、保険者が支払う医療費の半分を国庫支出金で、残りの半分を保険料でまかなうことが原則です。

八年度から、保険料を二・七%引き上げますが、被保険者の負担軽減のための一般会計からの繰入金も、それ以上の六・四%増となっています。

また、賦課限度額についても、引き上げを行わなければ限度額世帯以下の中間所得者層の負担を強いることになるため、一定の引き上げを行うものです。

なお、これ以上一般会計からの繰り入れを増やすことは、

厳しい一般財源をますます圧迫することになります。

エッ、廃止のぞんじ 八幡南福祉事務所

議員 保健福祉施設の見直しの中で、今年十月、八幡南福祉事務所を廃止し、八幡西福祉事務所に統合することが計画されています。

この計画が実施されると、八幡西区の南地域の方は、各種相談や申請のために遠く離れた八幡西福祉事務所まで行かなければならず、高齢者や障害者にとって大変な負担になります。この計画を中止すべきではありませんか。

保健福祉局長 八幡南福祉事務所は、昭和四十二年、生活保護世帯の急増に対応するため新設されましたが、現在同地区の生活保護世帯数は、大幅に減少しています。

また、近年、交通や通信手段の発達、年長者相談コーナーや市民福祉センターの設置などサービス提供体制も改善されています。

こうした状況を踏まえ、効率的な運営を図るため、今回の統廃合を実施するものです。なお、地元住民に対する福祉サービスが低下しないよう、当分の間、八幡南出張所に福祉窓口を置き、年長者相談や各種申請の受付を行うことにしています。

八幡西区役所の 駐車スペース確保を

八幡西区役所の駐車場（80台収容）には、1日平均約1,000台の車が訪れるため、渋滞が慢性化しています。その対策について議員から質問がありました。

市民局長は、「昨年より近隣の民間駐車場を借り上げ、現在110台分を確保しています。今後、車での来庁者の増加も予想され、抜本的な対策が必要です。将来必要な駐車スペース、周辺の民間駐車場の状況、駐車場増設の場所などを、いろいろな方向から対策を検討したい」と答えました。



八幡西区役所市民駐車場

障害者基本計画 特色とポイントは?

議員 現在、障害者基本計画の策定が進められています。そのポイントはどのようなものですか。

また、計画策定のスケジュール等をお聞かせください。

保健福祉局長 障害者基本計画については、昨年十一月、計画策定委員会から中間報告が出された後、障害者団体など関係団体に報告の説明を行うとともに、意見交換を行いました。

その中で出された意見や要望は委員会に報告し、三月中旬に審議の取りまとめをお願いしています。最終報告を受け

た後、できるだけ早い時期に計画を決定する予定です。現時点での計画の特色は、中間報告に述べられているように、①障害があってもできるかぎり地域の中で生活できるようにすること、②精神障害者も福祉面で取り組むことを明示すること、③地域生活支援機能をもつ入所施設の整備、などです。

このような特色を踏まえ、①(仮称)年長・障害者相談コーナーの設置、②(仮称)地域活動センターの設置、③障害者地域生活支援センターの設置、④精神障害者支援ネットワークの整備、⑤必要な入所施設の整備、などが計画のポイントになると考えています。

予算特別委員会の審査から



(第2分科会審査風景)

3月7日に設置された予算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかを取りあげました。

ルール違反！ JR九州指令部門 移転計画

委員 JR九州指令部門の福岡市移転計画は、ルールを無視するものです。JR九州に白紙撤回をさせるべきではありませんか。

市長 JR九州の福岡・北九州二本社体制は、国鉄民営化の際に、運輸省とJR九州設立委員の永倉氏によって発表された、いわゆる「永倉裁定」を基本ルールとして、今日に至っています。

ただ、社会の変化の中でルールが変わることもありうると思います。その場合でもそれなりの手続きがあつてしかるべきと考えます。今回は、それをまったく無視するものです。

したがって、今回の計画を白紙に戻し、信頼関係のもとに、あらためて話し合いの場を持つことをJR九州に強く

申し入れるとともに、運輸省に対しても、JR九州が「永倉裁定」を守るよう指導してほしいとのお願いをしたいと考えています。

粗大ごみの収集を早く！

委員 粗大ごみの収集に当たり、申込みから収集までに日数がかかり過ぎるとの苦情の声が多く聞かれます。もっと短縮できませんか。

市長 八年度から収集方法を改善し、申込みから収集までの日数を、現行よりも平均で十日間程度短縮します。収集日程表を各世帯に配布していますので、活用していただきたいと思ひます。

十分な市民の理解を！

▼福祉医療費給付 所得制限導入▲

委員 市は、乳幼児と重度

障害者の医療費給付制度に所得制限を導入しようとしています。

この所得制限の導入は、社会的影響が大きいことから、市民や関係者の十分な理解を得て、実施すべきと考えます。もし、市民の理解が得られない場合、計画の先送りなどの配慮が必要と思ひますがいかがですか。

市長 近年、高齢化や疾病構造の変化による医療費の増大、福祉ニーズの多様化が進んでいます。このような状況の中で、市民サービスを低下させることのないよう、高齢化社会対策総合計画を推進する一方、組織の見直しや財源確保などに努めてきました。

しかし、今後、保育五カ年計画や障害者基本計画など、二十一世紀に向けての新たな事業に取り組むためには、行政の内部努力だけでは対応が困難になりつつあります。

このため、施策の見直しの中で、両制度に所得による資格制限を導入し、負担能力のある方には、一定の負担をしていただくことにしました。その際、所得の額や対象には十分配慮したところです。

また、実施に当たっては、市民の理解を得ることがぜひ必要であり、理解を得られない場合は、実施の先送りや計画を凍結するくらいに固い決意で、市長を先頭に職員が一体となって努力していく考えです。

県立拠点文化施設の建設促進を！！

～(仮称) 海峡ミュージアム～

門司港活性化への大きな期待が寄せられている県立拠点文化施設の、内容や建設スケジュールについて、委員から質問がありました。

市長は、「施設の構想もようやくまとまりつつあります。具体的には、源平・壇之浦の合戦、巖流島の決闘、関門橋やトンネルの土木技術の展示、あるいは明治から大正の門司港の街並みなどを映像やリアルな模型で再現するなど、何度も行きたくなくなるような魅力ある施設にしたいと思っています。10年度着工に向けて県に働きかけていきたい」と答えました。



河川と下水道 統合後の計画は？

委員 本年四月から、建設局の河川課が下水道局に統合されます。市はどのようなねらいで実施するのですか。

市長 下水道行政も河川行政も、身近に親しまれる水辺づくりや多様な生態系の確保など、水環境の保全という共通の目的があります。

そこで、これらの課題に総合的に取り組むために組織の統合を行うものです。

そこで、これらの計画と畑貯水池周辺で整備が進められている自転車道を結ぶことにより、若松北海岸から遠賀川沿いを通り、木屋瀬宿までを回る大規模なサイクリングロードを実現させたいと考えています。

サイクリングロードを整備

若松北海岸(こやのせじま) 木屋瀬宿▲

委員 現在、県は宗像市から遠賀町までの海岸線に、「ひびき灘自転車道」の整備を進めています。

市も、この計画にあわせて遠賀川沿いから若松北海岸を周回する、サイクリングロードを整備してはいかがですか。

市長 市は、響灘緑地の北に広がる海岸線にサイクリングロードの整備を検討しています。さらに、市と遠賀川沿い六市町との間で、遠賀川沿いにサイクリングロードの計画を考えています。

市議会議員の資産を公開

「政治倫理の確立のための北九州市議会の議員の資産等の公開に関する条例」(平成8年1月1日施行)に基づき、議員の資産等が公開されることになりました。

市民のみなさんは、次の報告書を閲覧できます。

報告書の種類	記載内容	閲覧開始日
資産等報告書	不動産、預金等の保有状況	8年6月10日
所得等報告書	前年の所得等	8年7月1日
関連会社等報告書	就任している会社等の役職名等	8年7月1日

* 閲覧時間は午前9時～午後4時30分。
* 閲覧希望者は、市議会事務局総務課(☎582-2621)にて、閲覧の申し込みをして下さい。